

# 「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

## 【山梨県の作柄概況】

図 10a 当たり予想収量及び作況指数  
(10月15日現在)

1 山梨県における令和2年産水稻の作付面積（子実用）は4,880haで、前年産に比べ10ha減少した。また、主食用作付面積は4,800haとなった。

2 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数がやや少ない、1穂当たりもみ数がやや多いことから「やや少ない」となった。

3 登熟は、出穂期以降、天候がおおむね順調に推移したことから「平年並み」が見込まれる。

4 この結果、山梨県の10a当たり予想収量は529kgで、前年産に比べ12kgの減少が見込まれる。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）で選別された山梨県の作況指数は97が見込まれる。

5 以上のことから、予想収穫量（子実用）は2万5,800tで、前年産に比べ700tの減少が見込まれる。

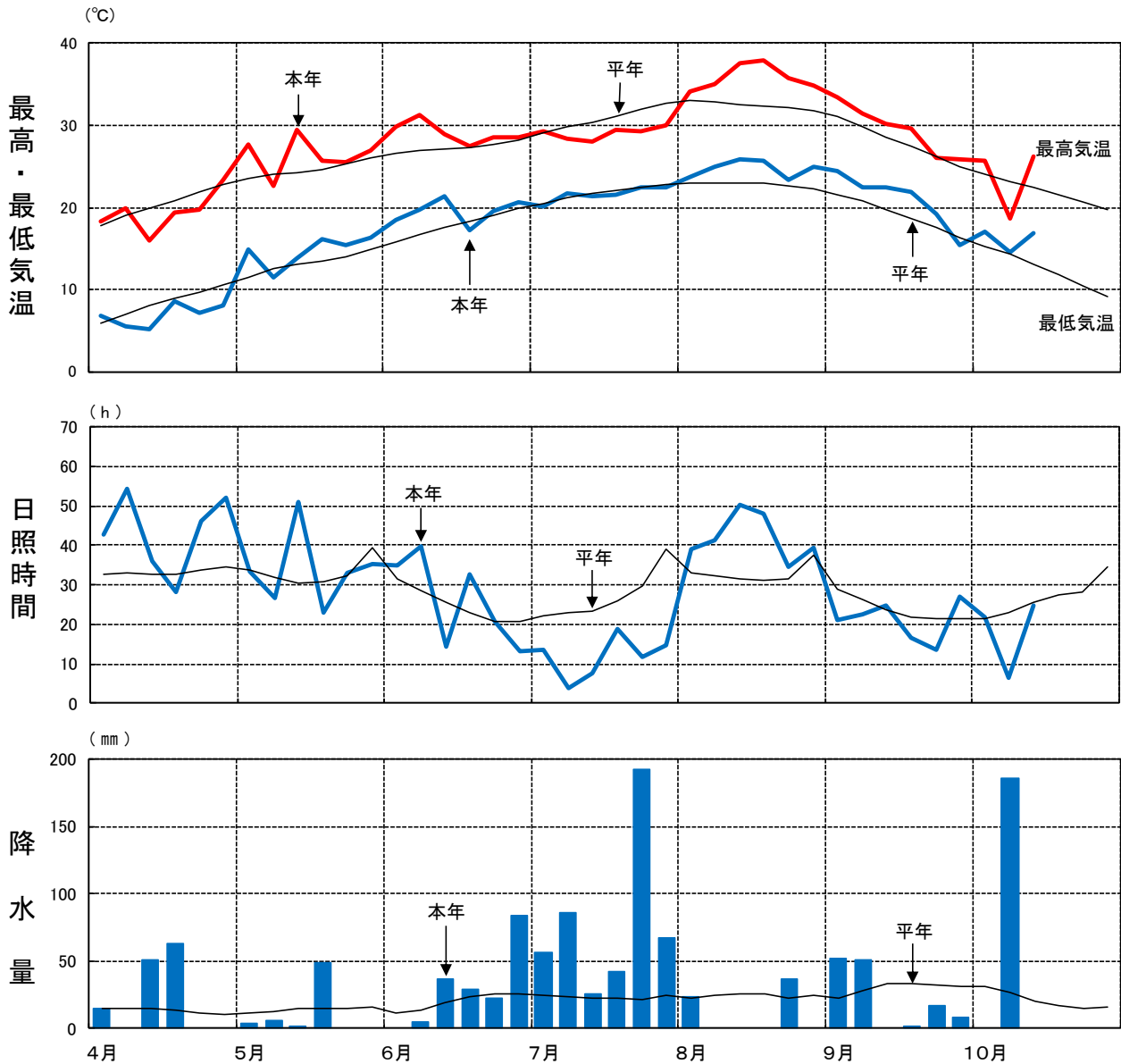
また、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は2万5,400tで、前年産に比べ600tの減少が見込まれる。



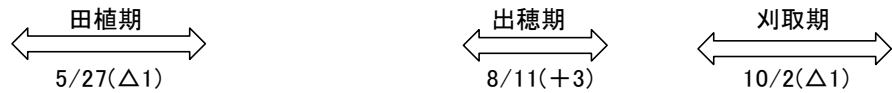
○ この資料は、「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料として作成したものです。詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 [https://www.maff.go.jp/kanto/to\\_jyo/](https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/) 】

## 令和2年 半旬別気象（甲府）



資料：気象庁



注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。  
 なお、( )内は、平年との遅速（日数）を示す。

### お問合せ先

◎本統計調査結果について  
 関東農政局 山梨県拠点 統計チーム  
 電話：055-254-6019  
 F A X：055-254-6059